

企業の**成長戦略** トップクラスの元気な働き蟻だけを 鍛えても**ダメ〜ッ**！

スキルや知識を社員に**教える教育**にお金をかけている会社は多い。それは、勝ち続けなければいけない企業の「**競争戦略**」において必要な「**指導型**」教育であり、それにかかる費用は必然的な「**コスト**」。（右の絵）で**働き蟻社員**を**トレーニング列車**に乗せて**山を登り続ける**イメージで描きました。

しかし、そういった従来の「**指導型**」教育だけでは不十分。未来を見据えた企業の長期的な「**成長戦略**」においては、個人個人が**本来持つ能力**を引き出し、彼らの**可能性**を応援する「**支援型**」の教育が今とても重要になってきている。それにかかる費用は将来に向けた「**投資**」という捉え方です。**指導型**と**支援型**の2つの教育の**併用**が必要というお話でした。

企業の大半を占めるBクラス、Cクラスをもっと元気づけないと！というお話もあり、とっさに右の絵に列車に乗れないでうらやましそうに見ている**亀さん**を描き足してみました（絵：右下）。

年次が上がるにつれて、選抜クラス、トップクラスだけが研修に呼ばれるようになることが多くありませんか？ 最近「**トップガン研修**」と呼ばれる研修をよく耳にします。トレーニング列車に乗っているのはそんな**Aクラスの元気に働く蟻さん**たちばかりです。しかし、**大半を占めるBクラス、Cクラス**を元気づけることこそが、企業の**成長戦略**には欠かせない。また実際、緊急にもその必要性に迫られている企業はかなり多いようです。

